2010年1月1日から2016年7月31日までに川崎医科大学附属病院消化器外科にて人工肛門閉鎖術の手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：　人工肛門閉鎖創に対する陰圧閉鎖療法の有用性

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2010年1月1日～2016年7月31日の間に、当院において人工肛門形成状態と診断され、手術を受けられた患者さんについて、人工肛門閉鎖部への陰圧閉鎖療法の有用性を検討するための後方視的調査研究を実施します。

本研究の目的は、人工肛門閉鎖術後に陰圧閉鎖療法を施行し、未施行例と比較を行い、陰圧閉鎖療法が術後創部感染の発生を防止できるかを検討することを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日～2年間の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は研究費を用いて行う研究であり、この研究を実施する関係者には大塚製薬(株)・(株)大塚製薬工場・中外製薬(株)・塩野義製薬(株)より奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係のない企業です。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属　川崎医科大学附属病院　消化器外科学
職名　臨床助教　　氏名　上野　太輔
TEL：086－462－1111（内線44332）
FAX：086－462－1199
E-mail：daisuke0111@hotmail.co.jp